

令和7年度

議案第8号

棚倉町下水道事業会計補正予算書

福島県棚倉町

議案第8号

令和7年度棚倉町下水道事業会計補正予算（第3号）

（総則）

第1条 令和7年度棚倉町下水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 令和7年度棚倉町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予算額）	（補正予算額）	（計）
		収 入	
第1款 下水道事業収益	341,611 千円	30,014 千円	371,625 千円
第2項 営業外収益	280,171 千円	30,014 千円	310,185 千円

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予算額）	（補正予算額）	（計）
		収 入	
第1款 資本的収入	210,713 千円	△ 5,300 千円	205,413 千円
第1項 企業債	148,600 千円	△ 5,300 千円	143,300 千円
		支 出	
第1款 資本的支出	220,977 千円	30,131 千円	251,108 千円
第3項 基金積立金	1 千円	30,131 千円	30,132 千円

(企業債の補正)

第4条 予算第5条に定めた企業債を、次の通り補正する。

企業債の目的	補正前				補正後			
	限度額(千円)	起債の方法	利率	償還の方法	限度額(千円)	起債の方法	利率	償還の方法
公営企業会計適用債	2,500	証書借入	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる場合においては、利率の見直しを行った後の利率)	10年以内。ただし財政の都合により償還期間を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借り換えすることができる。	2,400	証書借入	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる場合においては、利率の見直しを行った後の利率)	10年以内。ただし財政の都合により償還期間を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借り換えすることができる。
計	151,100				145,700			

(他会計からの補助金の補正)

第5条 予算第9条に定めた一般会計からこの会計へ補助を受ける金額「106,543千円」を「136,612千円」に改める。

令和8年3月5日 提出

棚倉町長 宮川政夫

令和7年度棚倉町下水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 下水道事業収益			341,611	30,014	371,625
	2 営業外収益		280,171	30,014	310,185
		3 他会計補助金	53,160	30,069	83,229
		4 補助金	1,925	△55	1,870

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 資本的収入			210,713	△5,300	205,413
	1 企業債		148,600	△5,300	143,300
		1 企業債	148,600	△5,300	143,300

支出

(単位：千円)

款	項	目	既決予算額	補正予算額	計
1 資本的支出			220,977	30,131	251,108
	3 基金積立金		1	30,131	30,132
		1 基金積立金	1	30,131	30,132

令和7年度棚倉町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	40,981
減価償却費	187,039
長期前受金戻入	△ 120,923
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35
賞与引当金の増減額(△は減少)	54
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	256
受取利息及び受取配当金	△ 3
支払利息	19,499
固定資産売却益	△ 1
未収金の増減額(△は増加)	8,279
未払金の増減額(△は減少)	△ 928
その他流動資産の増減額(△は増加)	△ 6,512
小計	127,776
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△ 19,499
業務活動によるキャッシュ・フロー	108,280
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 19,786
有形固定資産の売却による収入	1
基金積み立てによる支出	△ 30,132
国県補助金による収入	8,030
分担金による収入	36
一般会計補助金による収入	53,383
受益者負担金による収入	64
基金取り崩しによる収入	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	#REF!
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	145,700
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 199,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	#REF!
資金増加額(又は減少額)	#REF!
資金期首残高	29,012
資金期末残高	#REF!

令和7年度棚倉町下水道事業予定貸借対照表  
(令和8年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
	イ 土地		97,881	
	ロ 建物	648,406		
	減価償却累計額	<u>△47,074</u>	601,332	
	ハ 構築物	4,258,299		
	減価償却累計額	<u>△292,766</u>	3,965,533	
	ニ 機械及び装置	358,967		
	減価償却累計額	<u>△32,221</u>	326,746	
	ホ 車両運搬具	585		
	減価償却累計額	<u>△526</u>	59	
	ヘ 工具器具及び備品	801		
	減価償却累計額	<u>△148</u>	653	
	ト 建設仮勘定		<u>26,198</u>	
	有形固定資産合計			5,018,402
(2)	無形固定資産			0
(3)	投資その他の資産			
	イ 基金		59,122	
	投資その他の資産合計			59,122
	固定資産合計			<u>5,077,524</u>
2	流動資産			
(1)	現金・預金			95,975
(2)	未収金		2,417	
	貸倒引当金		<u>△35</u>	2,382
(3)	貯蔵品			0
(4)	その他流動資産			6,512
	流動資産合計			<u>104,869</u>
	資産合計			<u><u>5,182,393</u></u>

(単位：千円)

負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,537,281		
	企業債合計		1,537,281	
	固定負債合計			1,537,281
4	流動負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,325		
	企業債合計		154,325	
(2)	未払金			
イ	営業未払金	18,918		
ロ	その他未払金	<u>0</u>		
	未払金合計		18,918	
(3)	引当金			
イ	賞与引当金	1,214		
ロ	法定福利費引当金	<u>488</u>		
	引当金合計		1,702	
(4)	その他流動負債		<u>100</u>	
	流動負債合計			175,045
5	繰延収益			
(1)	長期前受金			
イ	受贈財産評価額	0		
	収益化累計額	<u>0</u>	0	
ロ	補助金	0		
	収益化累計額	<u>0</u>	0	
ハ	その他長期前受金	3,543,879		
	収益化累計額	<u>△241,846</u>	<u>3,302,033</u>	
	繰延収益合計			<u>3,302,033</u>
	負債合計			<u><u>5,014,359</u></u>

資 本 の 部

(単位：千円)

6	資本金		11,783
7	剰余金		
(1)	資本剰余金		
	イ 受贈財産評価額	0	
	ロ 他会計補助金	62,125	
	ハ 国庫補助金	28,548	
	ニ 県補助金	6,117	
	資本剰余金合計		96,790
(2)	利益剰余金		
	イ 減債積立金	0	
	ロ 建設改良積立金	0	
	ハ 当年度未処分利益剰余金	59,461	
	前年度繰越利益剰余金		
	その他未処分利益剰余金変動額		
	当年度純利益		
	利益剰余金合計		59,461
	剰余金合計		156,251
	資本合計		168,034
	負債資本合計		5,182,393

## 注記

### I 重要な会計方針

#### 1 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
建物	15～50年
構築物	8～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	5年
工具器具及び備品	8～10年

##### (2) 無形固定資産

・減価償却の方法	定額法による。
・主な耐用年数	
施設利用権	20年

#### 2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

当町は、退職手当組合に加入しており、下水道事業会計は当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、下水道事業会計が当該組合に対して負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、下水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

##### (2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

##### (3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

##### (4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### 4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式による。

II セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

棚倉町下水道事業会計は、公共下水道事業、農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから公共下水道事業、農業集落排水事業の二つのセグメントを報告している。

なお、報告セグメントに属する内容は以下の通りである。

公共下水道事業	公共下水道事業計画区域内におけるし尿及び生活雑排水の処理
農業集落排水事業	農業集落排水事業計画区域内におけるし尿及び生活雑排水の処理

2 報告セグメントごとの営業収益、営業費用、営業損益金額、経常損益金額、資産、負債、その他の項目の金額  
(単位：千円)

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合計
営業収益	44,860	11,000	55,860
営業費用	234,690	69,847	304,537
営業損益	△ 189,830	△ 58,847	△ 248,677
経常損益	46,761	△ 4,771	41,990
セグメント資産	3,972,568	1,209,825	5,182,393
セグメント負債	3,817,794	1,196,565	5,014,359
その他の項目			
下水道使用料	42,455	11,000	53,455
減価償却費	143,346	43,693	187,039
特別利益	3	0	3
特別損失	12	0	12
有形固定資産	19,786	0	19,786

# 附 属 资 料

令和7年度棚倉町下水道事業会計補正予算説明

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考	
1 下水道事業収益				341,611	30,014	371,625		
	2 営業外収益			280,171	30,014	310,185		
		3 他会計補助金			53,160	30,069	83,229	一般会計補助金 30,069
			1 一般会計補助金			53,160	30,069	
		4 補助金				1,925	△55	1,870
1 国庫補助金				1,925	△55	1,870		

資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考	
1 資本的収入				210,713	△5,300	205,413		
	1 企業債			148,600	△5,300	143,300	下水道事業債 △ 5,300	
		1 企業債			10,000	△5,300		4,700
			1 企業債			10,000		△5,300

支 出

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予算額	補正予算額	計	備 考	
1 資本的支出				220,977	30,131	251,108		
	3 基金積立金			1	30,131	30,132	基金積立金 30,131	
		1 基金積立金			1	30,131		30,132
			5 3 基金積立金			1		30,131